

令和3年9月定例会 一般質問(質問・答弁要約)



一般質問動画

コロナ禍を乗り越える力・復元力(レジリエンス)をテーマに質問
徳島の地方創生・地域産業振興、コロナワクチン、減災対策、教育環境整備

Q.1 今後の地方創生について — 徳島発展のために

知事は全国知事会長として「新型コロナウイルス感染症」という国難への対応にも迫られたが、一方で人口減少が進む中、アフターコロナを見据えた地方創生への取組みも重要であり、全国知事会で取りまとめられた「魅力ある地域づくり」「新次元の分散型国土」の実現が鍵となる。知事会長としての2年間の経験を、これからの徳島の地方創生にどう活かしていくのか?



議会 ICT
ペーパーレスで質問

A 飯泉知事

コロナ禍を受け、地方回帰の機運が高まる中、アフターコロナに向けた新たな人の流れづくりが今後の地方創生の重要な鍵であり、全国知事会で「新次元の分散型国土」の理念を打ち出した。デジタル化の進展をはじめとした、コロナ禍による“価値観の変容”を追い風に、地方創生の道筋の“一步先を進む徳島”として取組みを一層加速化し、「政府機関や企業の移転」「未来技術の社会実装」など、この国全体の転換を図る地方創生の具現化にチャレンジする。

<コメント・考え> 全国知事会で46都道府県それぞれの現状と徳島県を外側から見てきた経験、国を含め様々な人とのつながりや新たなチャンネルを、今後の徳島県の発展のために全力で活かすことが重要。「徳島県のために!」という強い思いで、地方からの声を届け、提言した政策の実現をいち早く成し遂げていただきたい。

Q.2 若年層のワクチン接種について — 前向きな接種のために

感染症のこれ以上のまん延を防ぐには、全年代でのワクチン接種率向上が鍵になる。第5波では、小中高生を含め50歳代以下の感染が大半を占める状況であり、若年層への接種が今後の課題である。接種機会の提供を行うとともに、「正確な情報発信」を行い、迷っている方にもワクチン接種を前向きに考えていただけるよう取り組むべきと考えるが?

※12歳以上の県民の2回目接種済み(令和3年9月22日 時点) 69.6%
努力により到達し得る接種率目標(理想的な接種率)【国の新型コロナウイルス感染症対策分科会 令和3年9月3日 発表】
60歳代以上は85%(90%)、40~50歳代は70%(80%)、20~30歳代は60%(75%)

A 保健福祉部長

30歳代以下の接種率を向上させることが喫緊の課題であると認識している。若い方からはワクチンについて副反応や将来的な身体への影響などに関する疑問や不安の声も多いことから、ワクチンに関する質問に医師や接種を終えた看護学生が答える動画を作成し、YouTube「徳島県チャンネル」、若者応援サイト「AWAIRO」などのSNSで配信し、県内大学や関係機関とも連携してワクチン接種に関する「正確な知識や情報」を分かりやすく積極的に発信していく。



YouTube「徳島県チャンネル」
情報動画配信

<コメント・考え> 若年層によっては新聞やテレビなどを見ない人、インターネットやSNSでも必要な情報しか取得しない人もいるのであらゆる媒体を使い正しい情報を伝えることが重要。未接種の方、また3回目接種を検討されている方に正確な情報を届け、ワクチンに対して十分ご理解していただけるよう取り組んで欲しい。

徳島県 ワクチン 2回目 接種状況	(令和3年 9月22日 時点)	20~30歳代 30.9%	40~50歳代 48.7%	60歳代以上 86.0%	12歳以上 69.6%	(令和4年 1月5日 時点)	77.9%	85.5%	92.0%	86.3%
※令和3年10月18日「努力により到達し得る接種率」に到達 令和3年12月4日「理想的な接種率」に到達										